

協同総合 研究所 30周年集会

協同社会のデザインに向けて



2021.3.13 Sat 13:30 - 17:30

オンライン開催 / 参加無料

申込み

お申込みは、右側のリンクまたはバーコードから「申込みフォーム」にとび、必要事項を入力して送信してください。受付は**3月10日（水）**までです。メールや電話などでも受付けています。イベント終了後のアーカイブ配信については未定です。お気軽にお問い合わせください。

<https://forms.gle/1p8r2dve5T2wj19q8>



協同総合研究所30周年集会

協同社会のデザインに向けて

協同総合研究所は、2021年3月に設立30周年を迎えます。

1991年から今日までの軌跡を振り返り、役割と成果を確認するとともに、労働者協同組合法が制定された今、労働者協同組合、協同労働を未来にどう活かしていくのか、研究と実践の分野を横断して、ともに考え合いたいと思います。

労協法制定の一方で、人類は今、気候危機に代表される時代の分岐点に立たされています。

協同を総合的に研究する私たちは、これからの1年間、

「協同社会のデザインに向けて～労働者協同組合法とコロナ禍からのアプローチ～」という大テーマのもと、労働、公共・民主主義、経済、学び・育ちなどの多角的な視点から協同による未来社会を展望する研究活動に取り組む考えです。

2030年とその先の社会を見据え、人間の根源的な営みである協同を基礎に、会員のみなさまとともに、この時代をしなやかにリードしていく所存です。



Contents

1. 古村理事長記念対談

Guest

藤原 辰史

ふじはら たつし さん

1976年北海道旭川市生まれ、鳥根県横田町（現・奥出雲町）出身。京都大学人文科学研究所准教授。専門は農業史。

古村 伸宏

ふるむら のぶひろ さん

1964年京都府生まれ。労働者協同組合センター事業団各地の事業所長・事業本部長を歴任。日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会理事長。2019年より協同総研理事長を兼任。



2. 記念企画 会員セッション

Theme

協同社会のデザインに向けて

労働者協同組合法とコロナ禍からのアプローチ

1年間の研究テーマを会員のみなさまと議論します。



2021年を、過去を振り返りつつ、未来に向けて新しい研究活動をスタートさせる年と位置づけ、3月13日開催の30周年記念集会をそのキックオフの場としたいと思います。こうした幅広い研究活動は、会員の皆さまの積極的な参加なしには成立しません。皆さまの問題意識を出していただき、その中から具体的な研究テーマを設定して、1年間活動につなげていきたいと思っています。

「なぜ協同総研に関わっていらっしゃるのか」「関心分野やテーマ」「取り組んでいる活動や今後取り組みたいこと」を中心テーマに、闊達な意見交換を行えば幸いです。